

「グループ1」

<p>すばらしい自然・景観・環境の保全と創出</p> <p>(自然保護、生態系維持、景観保全・形成など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理が不十分な森林が多い ・利用されていない農地が目につく ・自然農のクラインガルテン ・電線がジャマになる ・特に冬場、歩道の確保が難しい。保養ゾーンでは道路わきの伐採ができるような条例ができないものか。(私有地) 冬の日当たりにも関係する。 ・自然の美(雪形)など文化財にしてほしい。 ・田んぼや畑がずっとあってほしい。 ・田んぼにカモ ・昔植えられた樹木が伸びすぎて、景色が変わってしまった。景観のためには伐採が必要な所もある。私有地であっても可能な方法は? ・利便性を追求しない。 ・砂利道を残して欲しい。 ・地べたにソーラーは今後場所を選ぶ。 ・現代的な看板ではなく、原村らしい木の看板など古い感じを出す事(例 Free range children) ・払沢近辺の使えなくなっている蔵や古民家が並んでいる通りを若者が集えるカフェにリフォームして昔の街並みを美しく元気に復活。 	<p>人と環境にやさしい持続可能な「循環型社会」の創出</p> <p>(ごみ、リサイクルなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えんがわ、わらしべ文庫、貸し本屋(まちづくり)(ごみ減量) ・ゴミの収集が余りにも遠い。 ・リサイクル品の保管、交換施設があると良い ・子ども服の交換 ・子育てパパ、ママの交流 ・生ゴミリサイクルはコンポストでは限界があるので、村全体で取り組めると良い。生ゴミの堆肥化→畑へ。 ・リサイクルをいつでも村でやっている場所があれば良い ・新エネルギー、風土にあった原村らしいバイオマス利用 ・資源ゴミは常時出せるコンテナがあると良い。物にもよるが衣料など。 	<p>地球温暖化防止対策</p> <p>(省エネ、新エネルギーなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス ・地域で使うエネルギーをまかなえるように!(薪、電気) ・再生エネルギーで村全体の電力をまかなうモデルビレッジにする。バイオマス利用などドイツの。 ・太陽光も電力だけでなく、いろいろな方法も有る。風力など温水など。 	<p>水資源の確保、保全と上下水道の整備</p> <p>(水質保全、上水道、下水道など)</p>
<p>自然と調和した居住環境の整備</p> <p>(宅地の確保、まちなみ環境、公園、緑地など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒げる居場所(図書館はダメ) ・村内どこでもプレーパーク(遊び場) ・自然を壊せる場(遊びとして) ・日常的に自然の中で遊べる場 ・家の庭で遊び場やるからよろしく ・屋外型学童 ・放課後に集まれる場 ・居住地区に公園などが少ない ・中学生、高校生の行く場所 ・子どもの遊び場が少ない。 ・友達と遊ぶ場所 ・色々な世代の人が立ち寄れる場 ・学童、児童クラブの予算をちょっと分けてくれれば外でできる。 ・まずは週3日、外遊び(5~600万?) ・公園というものを作る必要はない。今の原村をなるべく都会的にしない。 ・放課後、どこへも行く場所がない子がいる。家に来ている。 ・休耕地となっている土地の再生利用を農家さんだけの問題ではなく原村全体のこととして考えていく。その利用に関して雇用が生めるもの。 ・遊べる山、森、川 ・ラウンドアバウト 	<p>人に優しい道路・ネットワークの整備</p> <p>(道路の整備・改善、交通安全、公共交通など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス待ちをコミュニティに。 ・「不便」なのもいいところ ・除雪について、雪が降る度に道が狭くなる。 ・通学路に土と草を! ・高齢化が進む原村では今後、公共交通が必要だが、そのしくみはいろいろな工夫が必要。 ・雪道、日陰になる道を減らして欲しい 	<p>住民の生活を守る消防・防災・地域安全対策</p> <p>(防災、減災、自然災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土捨場で土砂災害は発生しないか。 ・避難所は決まっても運営マニュアルが未整備。 ・日頃から近所との交流が大事!外から来た人も困らない地域作り。 ・消防団って楽しいよPR 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業を教えてもらう場 ・ドンキホーテを2日間 ・「今」が満足なら戻ってきます。 ・動物園 ・屋外フェス(原フェス) ・村民〇〇祭 ・農業をもっと元気に! ・小・中学校の「総合の時間」の活用。(生徒と村民の交流) ・もっと飲食店が欲しい。 ・音楽活動のできる場所 ・まち・ひと・しごとの創生をうたうならば、原村の人材をもっと村が活用すべき。(かくされた人材がたくさんいる。) ・「私、これができます!」の村民登録。

「グループ2」

<p>すばらしい自然・景観・環境の保全と創出</p> <p>(自然保護、生態系維持、景観保全・形成など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコライン沿の景観の保全。原村の景観のある意味、生命線である。ハードルを整備する。 ・景観条例 ・ソーラーパネル設置に村独自の厳しいガイドラインを。 ・電柱下に ・森林内への住宅規制。なるべく集落内へ別荘も区域を限って作る。 ・美しい村づくり連合への加盟 ・電柱の地中化 ・山の景観を活かす。 ・八ヶ岳山麓への別荘等の規制。(自然を残すために) ・有機農業エリアをつくる。村の目玉に。 ・美しい景観づくり。景観条例を見直し、八ヶ岳の自然と調和するように色、建物、ハウス等も規制する。 ・自然保護、保健休養地内への住宅新築については、もう少し規制を強くできないか？ ・野焼きの禁止 ・自然環境、森林の保全。植林、樹種のせんばつ等。かんよう、土砂の流出を防げる森林へ。 ・信号をなくす。ラウンドアバウト化。 	<p>人と環境にやさしい持続可能な「循環型社会」の創出</p> <p>(ごみ、リサイクルなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミをエネルギー化する。(ゴミ減量)→水素エネルギー ・バイオマスエネルギー、バイオガス、バイオ水素生産の研究。 ・ごみゼロの村を目指して行動する。生ゴミの循環など将来最終処分場が必要なくなるように。 ・小規模資源物リサイクルステーションをつくり、常時回収する。 ・林の下払い、間伐材、不耕作地等の草の利用。 ・生ゴミのリサイクル(各家庭) ・森林の下草刈等の肥料化。 ・ごみ、リサイクル、3Rの内、リデュース(必要以上の物を買わない)意識の向上。梱包方法の確認(企業など) ・地域内で循環できるエネルギーへ。地中熱、太陽熱、太陽光など。使わない生活も考える。 ・ゼロウェイスト宣言 ・間伐材で村の公共施設を作る等の取り組みをしたら良いと思う。 ・資源ゴミ常時回収 	<p>地球温暖化防止対策</p> <p>(省エネ、新エネルギーなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素による地域エネルギー⇄生ゴミを原料とする。 ・エネルギーの村独自の自立 ・小水力発電普及のための水の見直し ・新エネルギー水道の活用 ・バイオマスエネルギーの活用(①燃やすバイオマス、②発電するバイオマス、③発熱するバイオマス) ・村で完結できるエネルギー調達をつくる。 ・太陽光発電は24時間発電できる訳ではないので、他の水力発電、バイオ発電等のエネルギー比率を考慮して取り組んだ方が良い。 ・風力発電は効率が悪く、落雷、景観、バードストライクの問題が有り作らないでほしい。 ・地中熱→地下水脈を活用し、熱エネルギーを取り出す。→農業用、融雪用 ・中山間地の有効活用(バイオマスエネルギー)ソルガム等の栽培。→荒廃地を作らない。エネルギーを取り出す。 ・エネルギー太陽光発電(家庭用)の普及 ・上水道による発電 	<p>水資源の確保、保全と上下水道の整備</p> <p>(水質保全、上水道、下水道など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質保全。下流に水を流す責任地として、きれいな水を流せるよう行動する。生活、産業連携して。 ・下水道の全戸普及(浄水ますをやめる)
<p>自然と調和した居住環境の整備</p> <p>(宅地の確保、まちなみ環境、公園、緑地など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リビングゾーンの土地、空き家等の調査をし、活用できるようにする。 ・森(森林)の整備 ・下水道未整備、地域の人口増は問題。何らかのはどめ。 ・農業者を増やす。農業者が山林を所有。就農支援策。一定の農業者がいることで保たれているバランス。 ・ペンション区の景観見直し(点検) ・居住環境、家庭用焼却設備の研究。 	<p>人に優しい道路・ネットワークの整備</p> <p>(道路の整備・改善、交通安全、公共交通など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の融雪→高齢化社会のインフラ整備。自然エネルギーを利用する。 ・通勤、通学に使う公共交通の整備。一人でどこへでも行けるように。 ・農道の規制、事故防止。 ・健康づくりに力を入れ、医療費の抑制を。スポーツ、食と連係したプログラムを。 ・村内すべての道が歩きやすい道となるよう、ウォーキングコースの充実。 ・道路、交通。茅野市、諏訪市へのアクセス改善 ・集落の中を主要道が通っている所は歩道を整備する。できない所は別ルートを作る。 ・茅野から夜遅めの時間に、乗り合いで村に戻るバスの運行を日に1本でも。 ・村内循環バスの充実(生活(各地区)に即したきめ細かい調査、アンケートの上に) 	<p>住民の生活を守る消防・防災・地域安全対策</p> <p>(防災、減災、自然災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区のコミュニケーション作り→最大の防災は地域のつながり。他地域からの流入は核家族化を進める危険がある。良いコミュニティを。 ・自主防災、地域住民の全員参加の防災、地域内の周知を。 ・自然を守る、人を守る。特に森林内。防火水槽の計画的な設置。 ・助けの必要な高齢独居者のケア(特に親類も近くにいない人) ・自主防災活動。消防計画による運営。各区で実施する。 ・第5分団を立ち上げる。 ・防災。最低でも各区公民館は避難所指定。 ・新住民と旧住民が交流しお互いに理解する。助け合う事ができるように。 ・雪対策見直し(温暖化の中で) 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が働ける環境整備 ・ICTの活用、テレワーク等 ・公共交通の整備 ・八ヶ岳自然文化園の施設の総点検 ・地産地消を推進し、村内の産業との循環をつくる。諏訪圏内も視野に。 ・移住する人の村行事、役割への参画 ・新居住者の区への加入を。案内パンフ。 ・シルバー世代の集落を作る。原山のように散らばっている人達をどうするか考える。

「グループ3」

<p>すばらしい自然・景観・環境の保全と創出</p> <p>(自然保護、生態系維持、景観保全・形成など)</p> <ul style="list-style-type: none">・「星」をもっと活用できないか？・「寒さ」を生かす方法は。・自然とは景観の事とし、村内特に原山、八ヶ岳すそには家が建たないように。(から松)・森林の下草刈りなどにより、失われつつある植物の復活を進める。・カラマツ等が高くなって景色が見づらい。(八ヶ岳)・看板のあり方。規制の必要性。・れんげつつじ、山百合、桜草など。(場所整備結果)・自然～環境の保全、生態系～各ゾーンにそれぞれ有るため。・自然てなに？・まず自分の家の回りの整理をする！したい！・森林及び木材の総合利用計画(観光、建築、エコプラントなどと関係)・農地の保全をどうするか。(遊休農地)・電柱を地下に埋める。・現在は鹿割が大きな問題になっている。過去から比べると小動物が減った。(うさぎ、リス)・ゾーニングごとに分けるのが×・生物多様性の保全。環境の保全→結果が景観	<p>人と環境にやさしい持続可能な「循環型社会」の創出</p> <p>(ごみ、リサイクルなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・各家庭にゴミ処理機などが配布できれば(コンポスト以外)・植林されたカラマツを伐採したら、れんげつつじが増えました。10年ほどになります。・生ごみ処理機の普及を考える。(冬コンポスト使えない→電動→堆肥化)・自分の生活の見直し	<p>地球温暖化防止対策</p> <p>(省エネ、新エネルギーなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・地産地消で成立するエネルギープラントの検討(バイオマス、小水力など)・省エネ、新エネルギーなど、新たなエネルギーの開発は是非とも必要と考えます。(バイオマス)・利用後、処分できるエネルギーを！・もう少し時間がたてば自動車の燃料はガソリン→水素に変わっていくべき。・バイオマス、チップ、堆肥化プラント→エネルギー・リサイクル・エネルギー問題は太陽光～地熱利用の検討を。	<p>水資源の確保、保全と上下水道の整備</p> <p>(水質保全、上水道、下水道など)</p> <ul style="list-style-type: none">・農業としての資源の保全・水のかん養が農林省事業にもある。・自然地内の水の保全、又有効に使用できるよう・原村の水道水は美味しいと思っています。地下水と聞いているが、いつまでこのままの状態が続くのか。
<p>自然と調和した居住環境の整備</p> <p>(宅地の確保、まちなみ環境、公園、緑地など)</p> <ul style="list-style-type: none">・↑これはわかる。・原村は空家問題はどのようになっているか。・空き家になっている古民家等を活用できるための施策は？・自然との調和って？緑被率、緑視率の考え方が重要！	<p>人に優しい道路・ネットワークの整備</p> <p>(道路の整備・改善、交通安全、公共交通など)</p> <ul style="list-style-type: none">・舗装道路はもう充分。・道路状況は今のままで充分。公共交通はますます高齢化が進む中、もっと需要が高まると思う。・アスファルトをはがす道づくり・高齢化に伴い、公共交通のバスの運行を是非多くしてもらいたい。	<p>住民の生活を守る消防・防災・地域安全対策</p> <p>(防災、減災、自然災害)</p> <ul style="list-style-type: none">・八ヶ岳は自然災害の少ない所だと思うが、各個の情報を各自治体(区)がどれだけつかめるか個人情報の問題もある。・海の津波以外の災害全ての種類の災害はあると思われる。防災組織の充実、強化を図るよう。・地域の独居高齢家庭の増加に伴う生活の安全確保。(夜間の安全確保)	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・希少種の取り扱い・日本で美しい村、地域条件2個以上は文化、昔ながらの芸能、郷土文化あるのか難しい。加盟は難しいと考える。

「グループ4」

<p>すばらしい自然・景観・環境の保全と創出 (自然保護、生態系維持、景観保全・形成など)</p> <ul style="list-style-type: none">・自然林の保護。完全伐採の場所も見られるが。・景観条例・ガイドラインか条例・伐採を行っていると話があった後、植えるものについてよく考えて植えているのか。・電線、地中化。景観、富士山を見たい。	<p>人と環境にやさしい持続可能な「循環型社会」の創出 (ごみ、リサイクルなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・循環型社会と言う事で発電の話があった。10年あれば可能だと思う。・資源物の出し方の検討。現在役場、各地区毎月1回。ごみステーション等への多量投棄。	<p>地球温暖化防止対策 (省エネ、新エネルギーなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・自然エネルギーへの積極的取り組み・森林の新陳代謝。村による薪の斡旋。・間伐材による熱エネルギーの活用(初期投資はかかるが)・森林育成と就労(バイオマス/エネルギー)	<p>水資源の確保、保全と上下水道の整備 (水質保全、上水道、下水道など)</p> <ul style="list-style-type: none">・原山の上部は下水道設置の計画はあるか。・舟山十字路に入った所、あみだ水を資源にはどうか。・水源が長期的に枯れないか不安。使用量と地下への浸透量の関係が不明。・あみだ水、村で売り出す。利活用。
<p>自然と調和した居住環境の整備 (宅地の確保、まちなみ環境、公園、緑地など)</p> <ul style="list-style-type: none">・電柱電線を無くす。地中化。・優良農地が宅地化されている。・公園いらない。公園手入れ必要。手のかからない取り組み。	<p>人に優しい道路・ネットワークの整備 (道路の整備・改善、交通安全、公共交通など)</p> <ul style="list-style-type: none">・住まい近くの砂利道を道路に。・公共交通機関の充実・歩道の整備・セロリン号の通勤・通学支援便は最終をもっと遅くできないのか。・公共交通のなさが漠然と不安。ボランティアの送迎に頼るのか。	<p>住民の生活を守る消防・防災・地域安全対策 (防災、減災、自然災害)</p> <ul style="list-style-type: none">・防災組織の確立・電線の埋設。・雪で倒木。・消防活動のための道路整備。4m道路のない場所がある。・想定した避難所が被災して機能しないケースを想定しているのか。・要支援者のケアを前提とした避難計画は？	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・遊休農地の活性化・鹿対策農地、駆除、エサによるもの。・生活道路の除雪が不十分。村の除雪計画路線に入っていない生活道路の存在。・村の有線放送を接続されていない家の情報不足。有線で流せば周知した事になっている認識。・星まつり+α、星にまつわる何か。全国的に集まっているが、どの程度知名度があるか。